和光市中央土地区画整理事業区域

まちづくりだより

Vol. I 2025.3

■まちづくりだよりの発行について

現在、市では、中央土地区画整理事業区域のまちづくりの検討を行っています。

この度、中央土地区画整理事業区域のまちづくりの見直しに関する情報を広く知ってもらうため、まちづくりだよりを発行することとしました。今後も本区域のまちづくりの実現に向け、引き続き定期的にまちづくりだよりを発行していきます。

●今回のまちづくりだよりの内容

- I) 中央土地区画整理事業区域について…PI
- 4) アンケート結果······P3~4
- 2) 土地区画整理事業について……P2
- 5) 今後のスケジュール·····P4
- 3) まちづくりの見直しの方向性……P2

1) 中央土地区画整理事業区域について

●中央土地区画整理事業区域は、50年以上事業化に至っていません。

昭和 45 年(1970 年)に 中央土地区画整理事業の区域(約 142ha) が都市計画に定められましたが、 の区域(約 105.2ha)は

事業化に至っていません。

の区域…和光市駅北口

土地区画整理事業 (事業中)

の区域…中央第二谷中

土地区画整理事業 (事業済み)



●本区域全体での事業実施は、見直す必要があると考えています。

都市計画に定めた当初と比べて市街化が進み、事業の費用が増大し(約 1,000 億円以上)、 工事が長期化するため(100 年以上)、本区域全体での事業実施は困難です。

●区域内の現状や改善したいことの洗い出しを行い、皆さんの考えを確認するため、アンケート調査を実施しました。

調査期間	令和6年12月末~令和7年2月		
配布数	2,587 部		
回答数	869 部		
回答率	33.6%		

アンケート調査の 詳細な結果はこちら→ **a**

2)土地区画整理事業について

●土地区画整理事業の概要

土地区画整理事業とは、土地所有者の皆さんから、新しい道路・公園などを生み出すための土地を公平に少しずつ提供していただき(減歩といいます)、道路や公園などを総合的に整備する事業です。



農地や不整形な土地



道路や公園などが整備され、 整形な宅地となります。

●土地区画整理事業の特徴

住環境の改善

防災性の向上

宅地の整形化 (土地活用しやすくなる)



減歩により土地が小さくなる (10~20%が目安)

移転や仮住まいが必要

土地活用ができるように なるまで時間がかかる

3) まちづくりの見直しの方向性

●エリアごとの特性を活かした、無理なく進められるまちづくりを目指します。

駅周辺エリアは駅に近いというポテンシャルを活用したまちづくり、住宅エリアは良好な住宅地を形成するためのまちづくりなど、エリアごとに求められるまちづくりを進め、本区域の魅力の向上を図ります。また、社会環境の変化に対し柔軟に対応し、無理なく進められることも考慮します。

●エリアごとに適したまちづくり手法の検討を進めていきます。

土地区画整理事業だけでなく、複数の整備手法を組み合わせたエリアごとのまちづくりの 検討を進めていきます。

私の持っている 土地建物の周辺は 将来の整備が 必要なのかな?



積極的な整備を 行うエリア 整備を行うエリア ・・・・・ 住環境を 維持するエリア

積極的な整備

⇒部分的な土地区画整理事業や 再開発事業などによる整備

緩やかな整備

⇒建替えなどとあわせた 段階的な整備

住環境の維持

⇒現在の住環境の整備 状況を維持

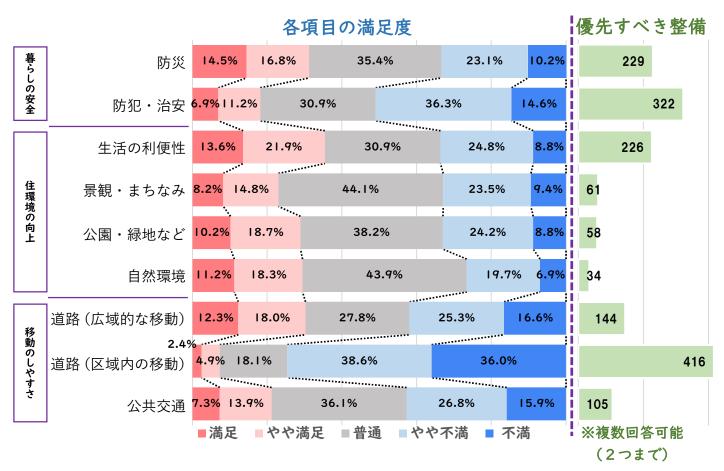
4) アンケート結果

●9つの項目に対する満足度と優先すべき整備についてお伺いしました。

◇結果の概要

9つの項目のうち、「生活の利便性」は「満足」「やや満足」の意見が多かった一方で、「道路(区域内の移動)」は「やや不満」「不満」の意見が最も多く、優先すべき整備としても、最も回答が多い結果となりました。また、「防災」「防犯・治安」も優先すべき整備としての回答が多く、安心して暮らせるまちづくりが求められています。

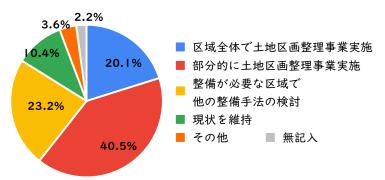
一方で、「景観・まちなみ」「公園・緑地など」「自然環境」は優先すべき整備としての 回答は少なく、整備の優先度が低いとお考えの方が多いと考えられます。



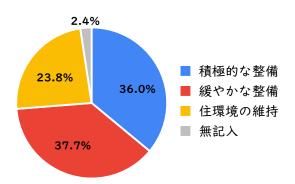
◇各項目の満足度を選択した理由(抜粋)

項目	項目	「満足」「やや満足」を 選択した理由	「やや不満」「不満」を 選択した理由
暮らしの 安全	防災	避難所が近い、自宅が高台にある	内水被害にあったことがある
	防犯・治安	治安が良い、事件が少ない	街灯が少ない、死角が多い
住環境の 向上	生活の利便性	交通の利便性が良い	近くにお店や病院が少ない
	景観・まちなみ	静かでのどか、緑が残っている	建物が多くてごみごみしている
	公園・緑地など	小さい公園が点在している	禁止事項が多い公園が多い
	自然環境	越戸川の遊歩道が良い	緑がどんどん減っている
移動のしやすさ	道路 (広域的な移動)	高速道路や外環へのアクセスが良い	渋滞が多い、道が曲がっている
	道路 (区域内の移動)	運転手が譲り合っている	道路・歩道が狭い、坂が多い
	公共交通	駅・バス停が近い	わこばの本数が少ない

●本区域のまちづくりを見直す上で、 どのような整備を進めるべきかの意向を お伺いしました。



●どのようにエリアごとの整備を したらよいかの考えをお伺いし ました。



- ●本区域がより暮らしやすく、より魅力が高まるには、どのようになるとよいかについて、いただいた意見の一部をご紹介します。
 - ◇生活の利便性に関するご意見
 - ・近くに医療機関や(スーパー、コンビニ、 飲食店)がほしい
 - ・交流ができるカフェやコミュニティセンターなどの公共施設がほしい
 - ◇防災・防犯・治安に関するご意見
 - ・内水被害の対策をしてほしい
 - ・街灯の数を増やしてほしい

◇道路に関するご意見

- ・道路が狭いのを改善してほしい
- ・通学路を安全に歩けるように歩道を整備し てほしい
- ・自転車専用道路の整備をしてほしい
- ◇公園・緑地に関するご意見
 - ・子どもの遊び場を増やしてほしい
 - ・今の自然環境を維持してほしい

5) 今後のスケジュール

ステップ | 区域内の現状や

(2年) 改善したいことの洗い出し

ステップ2 まちづくりの方針をまとめる

(2~3年) (区域全体、エリアごと)

皆様にご意見をいただきたいこと

まちづくり方針の内容や整備の優先順位について

ステップ3 具体的な整備内容の

(3~5年) 検討・合意形成(エリアごと)

具体的な整備内容や

まちづくりの進め方について

3つのステップで検討を行った後、エリアごとのまちづくりが始まっていきます。

お問合わせ

和光市 都市整備課 Mail: e0100@city.wako.lg.jp TEL: 048-424-9145 FAX: 048-464-5577 まちづくりだよりは こちらからも ご確認いただけます。→ **□**

